



ロンドンでミニ・クローラクレーンが大活躍

地上310m!

ロンドンを見下ろす「ザ・シャード」最上部でミリ単位の作業に挑む!

ロンドン五輪開催に湧いたロンドンのテムズ川沿いに、欧州一高い高層ビル「ザ・シャード」(高さ310m)が誕生したのを知っていますか?

大航海時代のマストをイメージしたと

いう全面ガラス張りの95階建てタワービルは、イタリアを代表する建築家レンゾ・ピアノ氏が設計しました。

実はこのビル上層部の440枚のガラスは、「スパイダー・クレーン」の愛称で親しまれている古河ユニック製ミニ・クローラクレーンによって、ビルの外側からはめ込まれました。

今回は、小さな車体でダイナミックな現場に挑んだミニ・クローラクレーンの活躍をレポートします!



イギリスの販売代理店 GGR社がオペレーション!

販売代理店として、欧州を中心にミニ・クローラクレーンを販売するGGR社。ミニ・クローラクレーンのコンパクト性と優れた操作性に目をつけた同社は、屋内や建設現場で安全に効率よく作業できるクレーンとして、新たな用途開拓を進めています。その一つが「ザ・シャード」の建設現場で、ミニ・クローラクレーンの納入だけでなく、同社のオペレーターを現場に派遣して作業まで行いました。





ミニ・クローラークレーンの性能とGGR社の実績が評価され、見事採用されました！

「ザ・シャード」の外壁のガラスは、1日の太陽の動きや季節によって様相が変化するように、それぞれ微妙な角度をつけてはめ込まれています。その数は全部で11,000枚。そのうち上層部の440枚は内部スペースの問題で、87階から62階の仮置き場にあるガラスを吊り上げて、外部からはめ込むことになりました。

作業を行う業者とその製品には、「ロンドン五輪開催直前に設定された工期の厳守」「十分な性能、限られたスペースへの搬入と安全性の確保」「強風・極寒条件での十分な経験と実績」という厳しい条件が課されましたが、当社のミニ・クローラークレーンの性能とGGR社の実績が評価され、見事採用されました。



ガラスはめ込み作業で「ミニ・クローラークレーン」が威力を発揮！

高度な油圧制御技術による優れた操作性で、ミリ単位の作業を完璧にこなしました！



2011年の年末から3月末までの予定でスタートした本工事。クレーンはまず、ブーム（竿の部分）を取り外した本体をタワー・クレーンで地上283mの作業現場へ移動し、その後ブームを吊り上げて屋上で組み立てられました。高度な油圧制御技術によって精密な作業を得意とするミニ・クローラークレーンは、ミリ単位で行われるガラスはめ込み作業で、その威力を十分に発揮。作業は予定通り3月末に終了し、外装工事のすべてが7月27日のロンドン五輪開催前に無事終了しました。

ミニ・クローラークレーンはさまざまな場所で活躍中！

一番小さなもので走行時の最大幅が60cmとスリムなミニ・クローラークレーンは、狭い通路を自走して移動でき、200V/400Vの電源でも作業できるため、屋内外のさまざまな現場で活躍しています。

▼ 折りたたんで作業現場に移動



▼ ショッピングモール内でガラス施工



▼ 建設現場屋内で外壁施工（ラジコン操作）



▼ 建設現場屋上で資材運搬

